

# 第1期生20人が修了

## KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミー



修了生に履修証明書を授与する徳田アカデミー長(左)

本学と川崎市が共同開講するKS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミーの第1期生20人の修了式が3月12日、サテライトキャンパスで行われた。

徳田賢二アカデミー長(経済学部教授)による式辞と履修証明書の授与に続き、川崎商工会議所会頭の山田長満氏が「一人ひとりが社会・地域課題に向かつて歩み続けてほしい」と祝辞を述べ、修了生を代表して菅見ゆう子さんが「アカデミーで

### 連続公開講座も

同アカデミーでは「CSRとソーシャル・ビジネス」をテーマに公開講座が開催された。2月9日は、川崎フロンタレプロモーション

部部長の天野春果氏が「クラブつくりは街づくり」と題し、プロモーション活動の考え方と手法を紹介。川崎フロンタレの目的は川崎市と市民を幸せにすること。行政、スポンサー、ボランティア、選手、サポーターが連携し、地域性と郷土愛を最優先に活動してきた」と語った。写真。

## 人文社会科学専攻優秀卒業論文発表会

### 後輩に研究の成果を披露

文学部人文社会科学専攻4年次生の優秀卒業論文発表会が1月30日、生田キャンパスで開かれ、3人が後輩学生ら約200人を前に力作を披露した。2011年度専修大学社会科学大会(川上周三会長)の中で行われた。

優秀論文は、同専攻ゼミナールの指導教員が選んだ代表論文を、さらに大学院生が審査して決めた。本年度の優秀論文は以下の3作品。

▽小山奈月さん(永野由紀子ゼミ)「家族団らんの成立・現状・課題」▽矢吹亮司さん(柴田弘捷ゼミ)「女性パートタイムの実情」▽金田一輝さん(金井雅之ゼミ)「地域社会の連帯が犯罪不安に及ぼす影響について」。

3人の発表に大学院生の唐風清さん、李珠華さん、山下景子さん(いずれも修士課程)が論評した。小山さんは「小学生たちは、給食が楽しみ。家族以外の他者であっても、一緒に食事をすることによって精神的な安定の獲得や、自己のアイデンティティの確立につながるのではないかと話した。自身がアルバイトをしている

スーパリーの女性パートを対象に調査した矢吹さんの「女性のパートタイム労働では、生活スタイルに合った仕事を見つけ、家事や育児とバランスを取りながら働くことが重要だと感じた」と語った。金田さんは「論文の主旨が正確に伝わるか不安だったが、院生の方に高く評価してもらえたのがうれしかった」と喜びを表した。

### 災害社会学の大矢根ゼミ4年次生

東日本大震災と向き合った1年間の成果を報告。災害社会学の大矢根ゼミ4年次生が活動成果を論文(卒論)と展示で報告する「東日本大震災に對峙したゼミの成果報告」被災地踏査と論考の軌跡」が1月25日、サテライトキャンパスで開催され、市民ら多数が訪れた。当日発表した4年次生は5人。被災者へのインタビューなどフィールドワークを中心にして論文にまとめた。

パネル展示は、ゼミ生11人が昨年6月に宮城県石巻市と女川町へ現地踏査に訪れた際の活動を写真などで紹介。4年次生10人の卒論の概要も展示された。

発表した大柴拓馬さんは「被災者の声だけでなく景色や匂いなども含めた情報を、自分自身の五感をフルに使って汲み取った」と振り返った。パネル展示は3月31日まで開催。

## 綿貫研究室が「国際環境技術展」に出展

### 「かわさき環境ショーウィンドウ」2011モデル事業で表彰

綿貫理明ネットワーク情報学部教授が、太陽電音(株)・伊藤工業と共同開発したアイデア「風力・太陽光による自然エネルギー発電と、人力発電による安全・安心の備え」が、「かわさき環境ショーウィンドウ2011」のモデル事業に選定され、2月10、11日に川崎中原区のとどろきアリーナで開催された「川崎



人力発電と綿貫研究室のみなさんが開発した風力発電機を装備した自転車型人力発電機は、漕ぐこ

国際環境技術展」で表彰された。同展には綿貫研究室4年次生4人(天野喜将さん、リリーダー、水野裕和さん、坂本

巨さん、木所文彦さん)も参加。研究成果を出展した。綿貫研究室では、川崎市産官学連携プロジェクトの一環として、太陽光など再生可能エネルギーに人力エネルギーを統合して有効活用する研究開発を行っている。同教授が開発した風力発電機を装備した自転車型人力発電機は、漕ぐこ

とで電気をつくることのできる。綿貫教授は「今回の選定は本学が掲げる『社会知性の開発』を目的に川崎市と連携して教育・研究を行ってきた成果。将来的には、体育館やフィットネスクラブなどで無駄に捨てられる人力エネルギーを回収して有効活用するシステムづくりを目指したい」と話す。出展ブースでは、学生が卒業研究で培ったネットワーク技術を駆使し、自転車型人力発電機の発電量をコンピュータの画面に表示、来



力作を発表する金田さん、小山さん、矢吹さん(左から)

学内外で勉学・スポーツ・課外活動を通じて顕著な成績を収めた商学部表彰が2月3日、生田キャンパスで行われ、18団体39人が学部長賞を、6団体22人が学部長奨励賞を受賞した。写真。

### 商学部長賞に18団体39人

学内外で勉学・スポーツ・課外活動を通じて顕著な成績を収めた商学部表彰が2月3日、生田キャンパスで行われ、18団体39人が学部長賞を、6団体22人が学部長奨励賞を受賞した。写真。

【学部長賞】  
▽公認会計士試験合格  
5人※第496号既報  
▽大学生のベースボールビジネスアワード2011優秀賞(奥瀬喜之ゼミ(栗原昌弘代表・4)※第495号既報

▽第8回神奈川産学チャレンジプログラム最優秀賞(宮本涼太代表・3)※第497号既報  
▽ユニバーシアード冬季競技大会スキー・ノルディック複合個人優勝(清水亜久里(2)※第485号既報  
▽チアリーディング世界選手権ダンス部門準優勝(大笠絵美子(3)※第490号既報  
▽レスリング全日本大学グレコローマン選手権3位(池澤峻介(2)※第494号既報  
▽日本学生トライアスロン選手権5位(堤啓(3)※第496号既報

▽全日本学生選抜卓球選手権女子シングルス優勝(劉莉莎(1)※第495号既報  
▽同男子シングルス準優勝(王凱(1)※第495号既報  
▽全日本大学サッカー選手権優勝(松本陽介(4)、池田裕樹(3)、稲葉圭吾(2)、奥山陸(2)、仲川輝人(1)※第496号既報

### 阿部川崎市長に「大学日本一」を報告



サッカー大学日本一になった専修大学サッカー部の監督と選手らが2月10日、川崎市役所で阿部孝夫川崎市長に優勝報告を行った。報告に訪れたサッカー部メンバーは▽朴泰希(法4・GK)▽北爪健吾(法1・DF)▽鈴木雄也(経済3・同)▽本名正太郎(商2・同)▽栗山直樹(法3・同)▽長澤和輝(経営2・MF)▽下田北斗(人間科学2・同)▽仲川輝人(商1・同)▽町田也真人(経済4・同)▽奥山陸(商

阿部市長は「この優勝は、たいへんうれし。連覇も夢ではない」とたたえ、今後を期待を寄せた。チームを代表して町田選手が「一戦一戦、監督を信じ、自分を信じ、仲間を信じてプレーしてきたことが、優勝という素晴らしい結果につながった」と力強く語った。

2・GK)▽大西佑亮(経済3)の11選手と源平貴久監督、飯田義明コーチ(経済学部教授)。

小林一茶 時代を読む俳諧師  
「我と来て遊べや親のなの子」雪こけて村一ばいの子とわが哉  
一茶は、子どもや動物たちへ慈愛に満ちた眼差しを向けて、滑稽味あふれる句をよんだ俳諧師だが、こうした俳句をよみ出したのは5代文学部教授。

三くだり半から はじめる古文書入門  
高木 侃著  
本書は「三行半」、いわゆる「三くだり半」(離縁状をテキストに使用した画期的な古文書入門書。「三行半」は江戸時代の古文書の中で最も行数が短く、簡潔にまとまっている) 著者(たかぎ・ただし) 法学部教授。

流動する黒人 コミュニティ アメリカ史を問う  
樋口 映美編著  
「コミュニティ」とは何か。本書は、その命題を掲げた7人の研究者がアメリカ系アメリカ人(アメリカ黒人)によるコミュニティの形成・変容のプロセスおよび多様性を、奴隷制の時代から今日まで検証しようとした実験の書である。

新しい本  
奴隷制下で紡がれた「人と人とのつながり」19世紀末の南部の町でつくられた「つながり」、第一次世界大戦後の北部大都市に拡大した黒人街での「つながり」や鉄道ポーターたちの生活からうまれる闘い、1950年代以降アフリカのガナに亡命した者たちの存在や川崎市の市民運動で注目された「黒人神学」、ニューヨークでの新たな闘いと連帯など、人びとの生きる実態が活写されている。(彩流社・本体2800円十税)